

町立 指江図書館

TEL0996-88-6500



「ぼあばはだいたいじょうぶ」  
著 いずみ 朔庵

江戸の貨幣事情の面白さを暮らしと共に紹介します。江戸に「行ったつもり」お金を「使ったつもり」になって楽しんで下さい。

町立 鷹巣図書館

TEL0996-86-1111



「ダンボールで作れるかわいいキッズ家具&おもちゃ」  
監修 Moco-ya 山田素子

ダンボールで作る、ポップでかわいい家具の本です。

町立図書館おすすめ

図書館においてある本の中からおすすめのものを選びました。バラエティに富んだ本を紹介いたします。

長島 文芸

長島短歌会

窓越し大声で呼び合ふ筋交ひの二軒目ついに立ち退きにけり 中山タマエ  
雨止みて甌島の上に湧く雲の行方を飽かづ眺めつ濱田美代子  
鈍色にさざ波光る蘭牟田池かげ伴ひて白鳥ら浮く松元 睦子  
朝々に啄む鴉もあきたるかわが庭の枇杷朱色になりぬ 松元 睦子  
朝焼けは飛行機雲を朱に染めやがて灘をも染めて 岩下 ち江  
陽は照る 岩下 ち江  
孟宗の竹の子伸びて親竹と濡れて触れ合ふつゆ風の吹く 岩下 房代  
釣り人の竿さき見つつ波止歩む白鷺一羽梅雨にけぶりて 樫平 頼子  
早つづく梅雨の旬日早苗田に東風荒ふりて雨を待つ宵 米尾 和子  
病む肩を庇ひて日すがら雨を眺む縦に斜めに時に窓うつ 坂之下典子

明神俳句会

高千穂は薩摩のまほら滴れり 淵脇 護  
母の忌や白紫陽花の雨となり 大堂 早苗  
試着して色めきたちぬ夏衣 大堂 光幸  
知床は神棲む岬滴れり 二階堂妙子  
夏衣秘め事透けて見えそうな 関 佳代美  
滴りに舌を伸ばすや屋久の鹿 脇田 武志  
滴りを集めて神社の供え水 大堂 正弘  
汗だくで少年一人ひた走る 山寄加代子  
子の泣きて中断のあり村芝居 白男川孝仁  
つくづく昭和は遠し村芝居 迫口 君代  
細流や河童の森の恋螢 筑前 初市  
入梅や一年教室大賑ひ 山田 哲夫  
村芝居見せ場は子別れ母なかず 二階堂恵子  
食卓の亡き夫の味焼茄子 坂口 静子

一般作品

目に青葉狭心症の脈確か人の体の誠不思議よ 宗方 清明  
台風のくる前にと植木鉢しまい終わりにてニュース 中仮屋辰子  
ききおり 小林 貢  
我が名をば呼び捨てにしてくれた人遠き旅路へ島 小林 貢  
風の吹く 小林 貢  
憎らしやか細き老婆のその腕に群りて留まる蚊の 小林 如月  
腹赤し 小林 如月  
新橋の焼酎酒場に集う日は一夜かぎりのふるさと 母木 良平  
言葉 母木 良平  
成せばなる自分の事はわれきぬる人を頼らず我れ 町田 末則  
なしとげる 町田 末則